

# 平成24年度 東葉高速鉄道事業計画

平成24年度の事業の実施にあたっては、鉄道事業の基本である「安全を最優先する姿勢」を一層強固なものとしながら、地域に密着した企業としてお客様のニーズを的確に捉えるとともに、昨年の中日本大震災の経験を活かし、より「安全・快適・便利な鉄道」を目指します。

## 1 安全輸送の確保

鉄道の生命である安全輸送を確保し、開業以来15年間の運転無事故記録を今後も継続すべく、施設の適切な保守管理や安全管理体制の更なる強化等により、お客様が安心して利用できる鉄道を目指します。

- (1) 高架橋橋脚の耐震補強工事の実施
- (2) 非常灯・誘導灯等の老朽設備や地震計の更新
- (3) 地上駅における停電時の照明確保
- (4) 夏季の高温によるレールの張り出し防止のための散水設備の設置
- (5) 危機管理対策や安全輸送の確保につながる社員教育・訓練の実施
- (6) 全社的な取り組みによる安全管理体制の強化

## 2 サービスの向上

すべてのお客様に快適にご利用いただくために、様々なニーズを的確にとらえ、お客様の視点に立った輸送サービスに努めます。

- (1) 行先表示器の新設・更新
- (2) 行先表示器での他社線を含む運行情報の提供
- (3) ホーム上で列車を待つお客様に対する利便性の向上
- (4) 駅構内触知案内板の整備
- (5) 帰宅困難者用備蓄品の各駅への配備
- (6) ICカードの全国相互利用等PASMO施策に対応した駅務機器ソフトの改造
- (7) 「お客様の声」を反映したサービス向上対策の実施

## 3 経営改善の推進

業務の委託内容の精査等により経費を節減するとともに、繰上償還による財務体質の改善を図り、早期に健全経営が確立できるよう努めます。

- (1) 日常業務の委託先や契約内容の見直し等による経費の節減
- (2) 繰上償還の適切な実施による支払利息の軽減

#### 4 運輸収入の確保

鉄道利用客の誘致を図るため、沿線集客施設との連携や企画乗車券のPR等を積極的に行い、運輸収入の増加に努めます。

- (1) 各種イベント等を通じた東葉高速線のPRと鉄道利用の促進
- (2) 沿線集客施設との連携による鉄道利用客の確保・拡大
- (3) 東葉東京メトロパス等の企画乗車券の発売による鉄道利用の促進

#### 5 関連事業の推進

所有する未利用地や施設を有効に活用し、関連事業による増収に努めます。

- (1) 新規店舗の誘致による高架下等の活用
- (2) 駅構内や列車内への広告ポスターの掲出等による広告収入の確保
- (3) テレビ・映画の撮影協力による施設使用料の確保

#### 6 人材育成

社員教育を積極的に推進し、会社を担う人材の育成・技能の習得を図ります。

- (1) 職場内研修の充実及び職場外研修への参加
- (2) お客様へのさらなる接遇及び安全性の向上を目指した社員教育・訓練の実施

#### 7 地域との共生

東葉高速線に親しみを持っていただくための各種イベントの開催や、地域情報の発信等により、地域への貢献・地域との共生に努めます。

- (1) 地域の持つ資源や当社施設を有効に活かし、「東葉健康ウォーク」「東葉サマーコンサート」「東葉・家族車両基地まつり」を開催
- (2) 駅公設掲示板や行先表示器等を活用した、地域活動への積極的な支援

## 平成24年度損益収支予算

(単位：百万円)

			計 画
経常損益	営業損益	営業収益	14,856
		旅客運輸収入	14,211
		運輸雑収	645
		営業費用	10,104
		営業費	5,026
		減価償却費	5,078
		営業利益	4,751
	営業外損益	△4,345	
経常利益		406	
特別損益		0	
法人税等		44	
当期純利益		362	

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示

## 平成24年度設備投資予算

(単位：百万円)

区 分	計 画	備 考
安全対策	304	高架橋耐震補強 ほか
増収対策	62	高架下等新規店舗整備
サービス向上対策	656	行先表示器の新設・更新 ほか
その他	87	
合 計	1,109	

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示